

# 未来を見つめるフューチャール

世界をおおいに盛り上げるための以下略

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

突如謎の能力に目覚めた 主人公 陰城 承太郎  
その前に現れた謎の男

彼を待ち受ける奇妙な運命とは……

目次



男は吹き飛んだ　そう約2mほどだろう

男は自分になにが起こったかを理解する事はない

なぜならその“何か”はその男には見えないのだから

男は血を吐いて倒れた

「な、なんなんだあよおお　この俺に取り付いているこの悪霊はよおおお」

その何かは彼の背中に戻っていった

「悪霊？　そいつああ　ちよいとちがうなあ」

暗がりから人影が出てきた

その男は、白いハットをかぶり奇抜なファッションに身を包んでいた

年齢は50歳前後だろう

「だ、だれなんだあおめええはよおお」

彼は正気ではなかった。

それは言うまでもない人を殺してしまったのだから

「心配することはねえ　実はおれにもソイツを出す事ができるんだ」

その時！　男の背中から何が浮かび上がった

男から出たソイツは人の姿とはかけ離れており、何て言えばよいのだろう

それは魚のようでもあり鳥のようでもあった

翼が生えていて、かと思えばエラで呼吸しているようだった

時より

『シャアアアア』

という鳴き声をあげていた

「こいつがおれの“スタンド”　アイネ・クライネ・ナハトムジークだ！」

「なんなんだあそいつは」

彼には理解できなかった

スタンドとは何か　そして男が何なのかも

「説明するとちよいと長くなるぜ　俺について来な」

男は歩きだしたそして彼も何もわからぬまま何かにすがりつくよ

うに男についていくのだった  
公園にはふたたび静けさがもどった